

**自分らしい素敵な生活を見つける事に
寄り添える支援を**

**メープル
管理者 石橋 孝治**

この度、4月1日付けで
地域生活援助事業所メープル
に異動してまいりました
石橋 孝治と申します。

私が初めて配属されたの
が同じエリアにある港第二
育成園でした。当時、メー
プルは「通勤寮・地域生活
支援センター」として港第二育成園と共に“生活”と
“就労”というそれぞれの切り口から力を合わせご利用
者の地域生活の支援をしておりました。私が就労支
援の業務をしていた頃のご利用者の方も現在、たくさ
んメープルを利用しておられ、久しぶりにお顔を拝見
し、とても懐かしく、また再び出会えたことをとても
うれしく思っております。

さて、時代は変わり現在「通勤寮」の制度はなくなり、
また地域生活支援センターという名称も変わり、
メープルは“グループホーム”の事業としてご利用者
の地域生活の支援を行なうようになりました。エリア
全体で利用定員は47名になります。一人一人が自分
らしい生活を見つけていく中で気づき、悩み、喜び、
楽しむといった過程に寄り添いながら、自らが自らの
事を主体的に決定し、豊かで素敵な生活に繋がって
いくための分かり易い情報を伝えていける支援を行っ
ていく事を心がけたいと思います。

また、メープルは今年度より装いを新たにショート
ステイの事業を開始いたします。定員は6名。メープル
の3階にて行います。ショートステイの事業に関し
ては、開始前から関心をお持ちいただいているお声も
たくさん頂戴し、我々も重点的に取り組むべき事業と
気を引き締めて準備に取り掛かっている所でありま
す。「地域生活」「自立」「親亡き後」・・・等の言葉は
たくさん行きかっていますが、人は経験をしていない
ものに対して、イメージを持つことは難しいものです。
ご本人がショートステイの利用をとおして、自分の生
活に対してのイメージを得ていくことに寄り添い支
援を行なっていきたいと思っております。親御様にはご本人
との生活が難しくなった時に…とのお考えもあるか
と思っておりますが、その前に利用をしておく事がご本人の
生活の幅を広げることにもなります。少し古いですが



「いつ利用するか?今でしょ!!」を合い言葉にして、
ぜひご利用ください。

最後に、不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけする
こともあると思いますが、周りの皆さま方の力をお借
りしながら、精一杯頑張っていく所存でありますので、
どうぞよろしく願いいたします。



就労支援に携わるにあたって

**大阪市西部地域障がい者就業・生活支援センター
管理者 平松 朝経**

この度、大阪市西部地域
障がい者就業・生活支援セ
ンターの管理者を拝命しま
した平松です。よろしくお
願い致します。

就労に関する専門事業と
して開設から10年以上経
ち、その歴史と暮らしの基
盤を支える多様な働き方を
模索する業務に、改めて責任の重さを感じております。

雇用情勢が刻々と姿を変える中、制度も変化し続け
ています。ジョブコーチ制度は労働局管轄に変わり、
利用開始まで一定の期間が必要となりました。大阪市内
24区は地方自治体として、制度に対し個別の判断
がなされるようになり、情報の積極的な確認と共有が
ますます必要となってきています。それらを踏まえ、
事業計画にて次の2点を掲げています。

1点目は適切な制度の把握と情報共有の強化です。
計画相談や就労支援B型利用のアセスメント・移行支
援事業所の年限の課題など、必要なサービスを望む形
で受けるための手法が問われており、応えられる事業
であり続けるよう努力してまいります。

2点目は定着支援の見直しです。過去から企業訪問
を中心とした支援を続けてきましたが、就職後、安定
就労が継続している方は早期のご相談も少なく、より
自立した社会生活を営んでおられます。職種・職場環
境等のマッチングを重視した支援を継続してきたこと
が、効果を発揮していると考えています。

一人ひとりに合った働き方を見つけることが安定
した暮らしの一助になると、数多くの事例から学んで
まいりました。今後もその情報を同じように悩み迷う
方々へ発信し続け、一人ひとりが社会参加の自負を持

